

2. 学校経営方針

- (1) 学校教育目標の実現と学校の危機管理体制の充実に向け、教育課題をしっかりと受けとめ、人間尊重の精神を基盤とし、誰もが安心して豊かな学校生活を目指し、生徒・保護者・地域の期待に応える生き生きとした学校づくりに努める。

学校目標の実現に向け、常に教育課程の工夫・改善に努める。

岡村の自慢づくり、自慢さがしをすべての教育活動の基調とする。

教職員と生徒がお互いの個性を引き出すために、それぞれの個性を十分に発揮し、生徒一人ひとりが、伸び伸びと実践できる学校にしていく。

地域(まち)の特色(個性)を生かし、生徒・保護者・教職員、地域が連帯と協働し、活力ある開かれた学校づくりに努める。

- (2) 生徒一人ひとりが生きることの喜びを持って主体的に学習し、豊かな自己実現や成就感が得られる学校生活の創造をめざす。

生徒一人ひとりの個性(自分の良さ)の把握と伸長に努め、かけがえのない存在として「生き方に学び、生き方を見つめ、生き方を創る」ことができる調和のとれた人に成長できるように支援に努める。

教育諸活動を通して、生徒理解に努め、成長過程を大切にし、心の通う指導と支援を行い生徒との信頼関係を深める。

生徒自らが「興味・関心・意欲」を抱き、「思考力・判断力・表現力」や「主体性」を生かし、教育活動が展開できるよう指導と支援に努める。

総合的な学習の時間を活用し、体験学習や実体験する場の設定を工夫し、実践的な力や知恵を身につけるよう指導と支援に努める。

- (3) 教職員一人ひとりが教育公務員としての自覚のもとに、職務と役割を果たし、生徒・保護者・地域の期待と信頼に応えるよう粘り強い教育実践に努める。

教職員一人ひとりが、生徒・保護者・地域等に信頼される教職員であるように、校内研修の充実に努めるとともに、積極的な教育活動の推進に努める。

教職員相互が理解と納得と信頼の視点に立って、人間関係を大切にして、指導と支援に努める。